

函館市医療・介護連携推進協議会 令和6年度第2回会議

日時：令和7年3月27日（木） 19：00

場所：函館市役所 8階大会議室

【次第】

1 開 会

2 議 事

○ 報告事項

- (1) 令和6年度下半期における各部会（分科会）での主な協議事項について

○ 協議事項

- (1) 令和7年度 函館市医療・介護連携支援センター事業内容（案）について
- (2) はこだて医療・介護連携サマリー 応用ツール④の改正について

3 そ の 他

- (1) 函館市医療・介護連携支援センターの開設日の変更について
- (2) 次回協議会について

4 閉 会

【配付資料】

1 報告事項(1)関係資料

資料1：令和6年度下半期における各部会（分科会）での主な協議事項

2 協議事項(1)関係資料

資料2－1：令和7年度 函館市医療・介護連携支援センター事業内容（案）

資料2－2：令和7年度 多職種連携研修計画（案）

3 協議事項(2)関係資料

資料3－1：応用ツール④の主な変更点

資料3－2：応用ツール④ 食事摂取・栄養管理（現行・改正案）

函館市医療・介護連携推進協議会 顧問・委員名簿

令和7年3月27日現在
(敬称略)

(顧 問)

分 野	所属団体	職 名	氏 名	勤務先
医 療	公益社団法人 函館市医師会	会 長	オオハラ マサノリ 大原 正範	独立行政法人国立病院機構 函館医療センター
	一般社団法人 函館歯科医師会	会 長	イワイ ヒロユキ 岩井 宏之	岩井歯科医院
	一般社団法人 函館薬剤師会	会 長	ヤナギハラ マサアキ 柳原 正明	はこだて調剤薬局
行 政	函館市病院局	局 長	ウジケ ヨシヒト 氏家 良人	函館市病院局

※欠席

(委 員)

(敬称略)

分 野	所属団体	職 名	氏 名	勤務先
医 療	公益社団法人 函館市医師会	副会長	コニシ ヒロアキ 小西 宏明	こにし内科・心臓血管クリニック
	一般社団法人 函館歯科医師会	副会長	タカミ ヒロシ 髙見 浩	タカミ歯科クリニック
	一般社団法人 函館薬剤師会	副会長	オオタニ ヒロキ 大谷 敬貴	トート相談薬局
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	支部長	テラダ ケイコ 寺田 恵子	市立函館病院
	道南在宅ケア研究会	会 長	カワグチ アツヤ 川口 篤也	社会医療法人道南勤労者医療協会 道南勤医協函館稜北病院
	函館地域医療連携実務者協議会	世話人	カメヤ ヒロシ 亀谷 博志	函館中央病院
	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会	理 事	アベ アヤコ 阿部 綾子	医療法人社団函館脳神経外科病院
介 護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	会 長	ワタベ ヨシヒト 渡部 良仁	小規模多機能ホームアニー
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	会 長	シノヘ エツミ 四戸 悦未	函館市地域包括支援センターあさひ
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	会 長	ヨシアラ タツヤ 吉荒 龍哉	介護老人保健施設ケンゆのかわ
	道南訪問看護ステーション連絡協議会		ホサカ アケミ 保坂 明美	訪問看護ステーションフレンズ
	道南地区老人福祉施設協議会	会 長	サイトウ タダフミ 齋藤 禎史	介護老人福祉施設シンフォニー
行 政	函館市保健福祉部	部 長	サトウ ツトム 佐藤 任	函館市

※欠席

※欠席

(オブザーバー)

(公社) 函館市医師会事務局 (一社) 函館歯科医師会事務局 (一社) 函館薬剤師会事務局 渡島総合振興局 北斗市 七飯町 ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター

(事務局等)

函館市保健福祉部 市立函館保健所 函館市医療・介護連携支援センター

令和 6 年度下半期における各部会（分科会）での主な協議事項

○ 情報共有ツール作業部会

（ア）「はこだて医療・介護連携サマリー」応用ツールの見直しについて

- ・ 複数の応用ツールについて、医療処置の手技や物品名を、現在一般的に使われている表現に変更

例) カテーテルの洗浄方法→カテーテル挿入部のケア方法
滅菌綿棒、消毒液→消毒スワブ など

（イ）「はこだて医療・介護連携サマリー」活用状況調査の見直しについて

- ・ 令和 7 年度以降は、調査回数を年 2 回から年 1 回とし、調査項目の内容を見直すことを決定

（ウ）「もしもノートはこだて」の活用状況調査について

- ・ 令和 5 年 11 月に発行した「もしもノートはこだて－人生会議の説明書－」の活用状況調査の実施を決定（令和 7 年度中に 1 回）

○ 多職種連携研修作業部会

（ア）令和 7 年度の研修計画（案）について

- ・ 令和 7 年度多職種連携研修計画（案）を承認

○ 退院支援分科会（連携ルール作業部会）

（ア）「はこだて入退院支援連携ガイド」および「はこだて療養支援のしおり」の活用状況調査の見直しについて

- ・ 令和 7 年度から、個別に実施していた両冊子の活用状況調査を 1 つにまとめ、年 1 回の実施とすることを決定

（イ）在宅看取り冊子の活用状況調査について

- ・ 令和 6 年 4 月に発行した「在宅看取り冊子『住み慣れたおうちで最期まで大切な方の旅立ちを支える皆様へ』」の活用状況調査の実施を決定（令和 7 年度中に 1 回）

（ウ）「はこだて療養支援のしおり」の見直しについて

- ・ 「はこだて療養支援のしおり」への北斗市・七飯町の情報の掲載について、既存の冊子に情報を追加する形とすることを決定・令和 7 年度中に完成予定

事業項目	具体的な内容	協議・取組の 所管
ア 地域の医療・介護の資源の把握		
① ホームページの活用促進および充実	・一般市民への周知および医療・介護関係者への周知とデータ掲載の促進（出前講座、出張講座等の活用） ・コラム等において、各医療・介護機関等の紹介（マップで検索可能な医療・介護機関とその検索項目について等）	医療・介護連携支援センター
② 「医療・介護連携マップ」の機能向上	・マップ掲載情報の更新・拡充（専門職対象のアンケート調査に基づき新たな掲載項目等を検討）	
イ 医療・介護関係者の情報共有の支援		
① 「はこだて医療・介護連携サマリー」の活用促進と機能向上	・サマリー活用状況調査を年1回（6月）実施・分析し、部会においてサマリーのさらなる活用促進と機能向上のための対応策等を協議 ・活用状況調査の結果をふまえて、Q & Aおよび各種マニュアルを更新・ホームページへ掲載 ・サマリーの全国展開に向けた様式の修正等について検討	情報共有ツール作業部会
② ICT活用に向けての取り組み	・医療・介護連携 ID-Link活用推進ワーキンググループにおいて、医療と介護の連携におけるID-Linkの適切な運用（サマリーの活用を含む）のあり方および介護事業所等への周知方法について検討	
ウ 医療・介護連携に関する相談支援		
① 総合相談窓口の体制強化および周知	・医療・介護関係者および市民を対象とした相談窓口の設置・運営 ・相談支援スキル向上のための研修会への参加 ・窓口の周知、広報活動（医療・介護関係機関（事業所）等へのリーフレット配置依頼等）	医療・介護連携支援センター
② 相談対応の標準化	・センター内相談対応指針、フォーマット等の更新（フロー、マニュアル、情報の整理等）および日報管理の機能向上の検討・実施 ・相談分析を行い、地域の課題を抽出・対応の検討	
エ 市民への普及啓発		
① 医療・介護連携支援センターの取り組みに関する周知活動	・高齢者大学や町会、老人福祉センターへの出前講座の積極的な実施 ・公共施設等へのリーフレットおよびポスターの設置・配布 ・市民公開講座の開催（7月）：映画「痛くない死に方」の上映およびトークショー	医療・介護連携支援センター
オ 医療・介護関係者の研修		
① 各種研修会の企画・運営	・相互理解、連携強化、多職種連携の専門性の向上を目的とした各種研修会の企画・運営（詳細は資料2-2を参照） ・人材育成を目的とした各種研修会への教員・学生の参加促進 ・次年度の研修計画（案）を作成し、部会で協議・確定	多職種連携研修作業部会
② 研修情報の一元化	・各職能団体から研修情報を収集し、ホームページへ掲載	
③ 研修会のコーディネート等	・各関係団体窓口一覧の更新	

事業項目	具体的な内容	協議・取組の 所管
カ 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築		
① 入退院支援	・「はこだて入退院支援連携ガイド」の活用状況調査を年1回（11月）実施，調査結果を分析し，内容の見直しやガイドのさらなる活用促進について協議	退院支援分科会
② 急変時対応	・急変時対応空床情報システムの管理・更新，検証	急変時対応分科会（急変時対応実務者会議）
	・消防本部との意見交換による「急変時対応シート」の更新検討	
③ 看取り	・「もしもノートはこだて」の活用状況調査を年1回（6月）実施，調査結果を分析し，ACPの普及に向けたさらなる活用促進について協議	情報共有ツール作業部会
	・在宅看取り冊子の活用状況調査を実施（4月），調査結果を分析し，さらなる活用促進について協議	退院支援分科会
④ 日常の療養支援	・「はこだて療養支援のしおり」の活用状況調査を年1回（11月）実施，調査結果を分析し，内容の見直しやしおりのさらなる活用促進について協議	
⑤ 在宅医療全般	・函館市医師会在宅医療医会の活動への協力	医療・介護連携支援センター
	・在宅医療体制の検討（主治医・副主治医制）	
キ その他		
① 医療・介護関係者へのセンターの取り組みの周知（「顔の見える関係」の構築）	・医療・介護関係者へのセンターの周知（ポスター・リーフレット配布，新規立ち上げ事業所への挨拶訪問等）	
	・出前講座や出張講座，研修会において，センター事業および各種ツール・冊子（ガイド，しおり，サマリー，もしもノート，看取り冊子，急変時対応シート等）の紹介・周知	
② 広域連携	・他市町の事業の取り組みとの協働	医療・介護連携支援センター
③ その他	・函館市医療・介護連携推進協議会への参画	
	・各作業部会および分科会の運営等	
	・業務等に必要な知識の習得のための研修会への参加	

【令和7年度 多職種連携研修計画（案）】

目的（テーマ）および内容	形式				主催/共催	定員	時期（実施日時）
	規模（会場）	形態	対象者	レベル			
（１）相互理解の促進							
①医療関係者向け研修 （仮）退院後、施設でこんな生活をしています ～介護老人保健施設、グループホーム編～	中規模	座学講義 （キャラバン方式）	医療関係者	初級～上級	ほくと・ななえセンター と共催	１００名程度	令和７年５月、８月、 令和８年２月
②介護関係者向け研修 （仮）回復期機能をもった病床のある病院の事情について ～思いやりのある連携～	中規模	座学講義	介護関係者	初級～上級	ほくと・ななえセンター と共催	１００名程度	令和７年５月、８月、 令和８年２月
③オープンカンファレンス	中規模	対話体験型（事例報告）	医療・介護関係者	初級～上級	未定	１００名程度	適時
④ 研修会等コーディネート 各関係団体窓口一覧の内容変更の有無を確認	—	—	—	—	—	—	令和７年６月頃 更新予定
（２）連携強化							
①連携強化 「第１０回函館市医療・介護連携多職種研修会」 （仮）病院・在宅・施設の立場から考える ～在宅生活ムリだよねの壁を越えてみませんか？～	大規模 （函館国際ホテル）	対話体験型 （シンポジウム・GW）	医療・介護関係者	中級～上級	ほくと・ななえセンター と共催	２００～３００名程度	令和７年１０月１８日（土） １４時～１７時
②看取り 函館市医療・介護連携「在宅看取り研修会」	中規模	座学講義（予定）	医療・介護関係者	初級～上級	ほくと・ななえセンター、 ６連協と共催	１００名程度	適時
③入退院支援 「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」 ※退院支援分科会との協働	小規模	対話体験型 （GW）	実務者	中級～上級	主催	４０名程度	適時
「入退院支援連携強化研修会（サマリー編）」 ※情報共有ツール作業部会との協働	中規模	座学講義	医療・介護関係者	初級～上級	ほくと・ななえセンター と共催	１００名程度	適時
④急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催） 「急変時対応研修会（仮）」	中規模	対話体験型 （シンポジウム）	医療・介護関係者	中級～上級	ほくと・ななえセンター と共催	１００名程度	適時
（３）多職種連携の専門性の向上							
各種出張講座等	小規模	座学講義 講師：センター職員	医療・介護関係者	初級～中級	各団体・各機関との共催	３０名程度	随時
（４）人材育成							
センター主催研修会への見学参加 ※各医療・介護系の学校への案内	随時	見学・座学講義	医療・介護学生 （教員）	未経験者	—	数名	随時

○応用ツール④の主な変更点

①ツールの名称を「食事摂取困難管理」から「食事摂取・栄養管理」に変更

②自己管理能力の評価と管理栄養士記入欄として情報提供日時の欄を追加（加算要件）

2.自己管理能力（該当するものに☑） ☐ 1)自己管理可 ☐ 2)不可 ☐ 3)全面介助（介助者 * 家族等の介助状況⇒ ☐ 可能 ☐ 不完全 ☐ 不可能 * 特記事項（	管理栄養士 記入欄 年 月 日 転院先管理栄養士へ説明済み
---	--

③現行「3. 現在の食事摂取カロリー及び量」としていた項目を「5. 現在の食形態等」に変更し内容を追加

3.現在の食事摂取カロリー及び量

* 現在の食事提供カロリー()kcal提供中

* 現在の食形態

☐ 刻み食 ☐ 軟食 ☐ トロミ食 ☐ ミキサー食

☐ その他 ()

* 主食

* 副食



《変更後》

5.現在の食形態等

① 主食 種類 () 形態 ()

* 嚥下調整食の必要性 ☐ 無 ☐ 有 ⇒学会分類コード※1 ()

特記

② 副食 種類 () 形態 ()

* 嚥下調整食の必要性 ☐ 無 ☐ 有 ⇒学会分類コード※1 ()

特記

③ 飲水（とろみ） ☐ 無 ☐ 有 ⇒学会分類※2 ()

特記

* 食事内容（治療食，補助食品等）

- ④「5. 現在の食形態等」について、主食や副食の種類、形態をプルダウンで選択できるように設定
 <<主食>>

5.現在の食形態等	
① 主食	種類 ()
* 嚥下調整食の必要性	形態 ()
特記	学会分類コード※1 ()

種類 () のプルダウンメニュー:

- 米飯
- 軟飯
- 全粥
- 七分粥
- 五分粥
- 三分粥
- 流動

形態 () のプルダウンメニュー:

- なし
- トロミ
- ミキサー
- ゼリー等
- その他

<<副食>>

5.現在の食形態等	
② 副食	種類 ()
* 嚥下調整食の必要性	形態 ()
特記	学会分類コード※1 ()

種類 () のプルダウンメニュー:

- 常食
- 軟菜食
- 流動食
- 不明

形態 () のプルダウンメニュー:

- なし
- トロミ
- 1口大きざみ
- 粗きざみ
- 超きざみ
- ミキサー
- ゼリー等
- その他

- ⑤「5. 現在の食形態等」について、学会分類コードの評価基準をコメント欄に掲載
 <<主食>>

5.現在の食形態等	
① 主食	種類 () 形態 ()
* 嚥下調整食の必要性	学会分類コード※1 ()
特記	

学会分類2021（食事）

嚥下調整食 1：おもゆゼリー、ミキサー粥のゼリー など（均質で、付着性、凝集性、かたさ、離水に配慮したゼリー・プリン・ムース状のもの）

嚥下調整食 2-1：粒がなく、付着性の低いペースト状のおもゆや粥（ピューレ・ペースト・ミキサー食など、均質でなめらかで、べたつかず、まとまりやすいもの スプーンですくって食べることが可能なもの）

嚥下調整食 2-2：やや不均質（粒がある）でもやわらかく、離水もなく付着性も低い粥類（ピューレ・ペースト・ミキサー食などで、べたつかず、まとまりやすいもので不均質なものを含む スプーンですくって食べることが可能なもの）

嚥下調整食 3：離水に配慮した粥 など（形はあるが、押しつぶしが容易、食塊形成や移送が容易、咽頭でばらけず嚥下しやすいように配慮されたもの 多量の離水がない）

嚥下調整食 4：軟飯・全粥 など（かたさ・ばらけやすさ・貼りつきやすさなどのないもの 箸やスプーンで切れるやわらかさ）

《副食》

② 副食	種類 ()	形態 ()
* 嚥下調整食の必要性	☐ 無 ☐ 有	⇒学会分類コード※ 1 ()
特記	学会分類2021（食事） 嚥下訓練食品 0j：均質で、付着性・凝集性・かたさに配慮したゼリー・離水が少なく、スライス状にすくうことが可能なもの 嚥下訓練食品 0t：均質で、付着性・凝集性・かたさに配慮したとろみ水（原則的には、中間のとろみあるいは濃いとろみ* のどちらかが適している） 嚥下調整食 1j：均質で、付着性、凝集性、かたさ、離水に配慮したゼリー・プリン・ムース状のもの 嚥下調整食 2-1：ピューレ・ペースト・ミキサー食など、均質でなめらかで、べたつかず、まとまりやすいもの スプーンですくって食べることが可能なもの 嚥下調整食 2-2：ピューレ・ペースト・ミキサー食などで、べたつかず、まとまりやすいもので不均質なものも含む スプーンですくって食べることが可能なもの 嚥下調整食 3：形はあるが、押しつぶしが容易、食塊形成や移送が容易、咽頭でばらけず嚥下しやすいように配慮されたもの 多量の離水がない 嚥下調整食 4：かたさ・ばらけやすさ・貼りつきやすさなどのないもの 箸やスプーンで切れるやわらかさ	

《飲水》

③ 飲水（とろみ）	☐ 無 ☐ 有	⇒学会分類※ 2 ()
特記	学会分類2021（とろみ） 段階 1 薄いとろみ【Ⅲ-3項】：スプーンを傾けるとすっと流れ落ちるフォークの歯の間から素早く流れ落ちるカップを傾け、流れ出た後には、うっすらと跡が残る程度の付着 段階 2 中間のとろみ【Ⅲ-2項】：スプーンを傾けるととろとろと流れるフォークの歯の間からゆっくりと流れ落ちるカップを傾け、流れ出た後には、全体にコーティングしたように付着 段階 3 濃いとろみ【Ⅲ-4項】：スプーンを傾けても、形状がある程度保たれ、流れにくいフォークの歯の間から流れ出ないカップを傾けても流れ出ない（ゆっくりと塊となって落ちる）	
* 食事内容（治療食、補助食品等）		

応用ツール④ 食事摂取困難管理

現行

1. 氏 名 _____ 生年月日 _____

2. 食事摂取に対しての問題（該当するものに☑）

□ ① 口の中に関する問題

- ☐ 入れ歯が合わない ☐ むし歯 ☐ 口内炎等により痛いところがある
☐ 歯が無いのに入れ歯を使っていない ☐ 口臭がある
☐ 口が渇いた感じ、ねばねばした感じがする

□ ② 食事摂取に関する問題

- ☐ 最近3ヶ月間に、食事量が減った
☐ 最近3ヶ月間に、食事にかかる時間が長くなった
☐ 最近3ヶ月間に、食形態に変化があった
☐ 最近3ヶ月間に、3キロ以上体重の減少があった
☐ 最近1年間に肺炎にかかった

□ ③ 食事中、気になる事

- ☐ 食べようとしない
☐ 食べこぼしや、うまく噛めないことがある
☐ 飲み込んだ後に食べ物が口に残っている
☐ 食事中によくむせる
☐ 飲み込んだものが逆流することがある
☐ 不明

□ ④ 食事を摂取しない場合の問題

- * 疾患との関連性 ☐ 有 ☐ 無
有の場合の要因()
* 内服薬の内容との関連性 ☐ 有 ☐ 無
有の場合の要因()
* 拒食の意思表示 ☐ 有 ☐ 無

3. 現在の食事摂取カロリー及び量

- * 現在の食事提供カロリー()kcal提供中
* 現在の食形態
☐ 刻み食 ☐ 軟食 ☐ トロミ食 ☐ ミキサー食
☐ その他 ()

* 主食 * 副食

4. その他

作成者 所属 _____

記入者 _____

ツール管理者 所属 _____

氏名 _____

応用ツール④ 食事摂取・栄養管理

1. 氏 名 _____

生年月日 _____

2. 自己管理能力（該当するものに☑）

☐ 1) 自己管理可☐ 2) 不可☐ 3) 全面介助（介助者* 家族等の介助状況⇒ ☐ 可能 ☐ 不完全 ☐ 不可能

* 特記事項（ _____ ）

管理栄養士 記入欄

年 月 日

転院先管理栄養士へ説明済み

3. 食事摂取に対しての問題（該当するものに☑）

① 食事中、気になる事

☐ 食べようとしない☐ 食べこぼしや、うまく噛めないことがある☐ 飲み込んだ後に食べ物が口に残っている ☐ 食事中によくむせる☐ 飲み込んだものが逆流することがある ☐ 不明

② 食事を摂取しない場合の問題

* 疾患との関連性 ☐ 有 ☐ 無

有の場合の要因（ _____ ）

* 内服薬の内容との関連性 ☐ 有 ☐ 無

有の場合の要因（ _____ ）

* 拒食の意思表示 ☐ 有 ☐ 無

4. 栄養量（下記の把握が難しいようであれば、7. の記入欄に食事摂取量等をご記入ください）

① 必要栄養量

エネルギー _____ kcal たんぱく質 _____ g

② 摂取栄養量

エネルギー _____ kcal たんぱく質 _____ g

主食 _____ % 副食 _____ %

5. 現在の食形態等

① 主食 種類（ _____ ） 形態（ _____ ）

* 嚥下調整食の必要性 ☐ 無 ☐ 有 ⇒学会分類コード※1（ _____ ）

特記 _____

② 副食 種類（ _____ ） 形態（ _____ ）

* 嚥下調整食の必要性 ☐ 無 ☐ 有 ⇒学会分類コード※1（ _____ ）

特記 _____

③ 飲水（とろみ） ☐ 無 ☐ 有 ⇒学会分類※2（ _____ ）

特記 _____

* 食事内容（治療食、補助食品等）

6. 食物アレルギー、禁止食品などの留意事項

7. 栄養管理に係る経過、栄養指導の内容、日常の様子等

※1 日本摂食嚥下リハビリテーション学会の嚥下調整食分類（食事）

※2 日本摂食嚥下リハビリテーション学会の学会分類（とろみ）

作成者 所属 _____

記入者 _____

ツール管理者 所属 _____

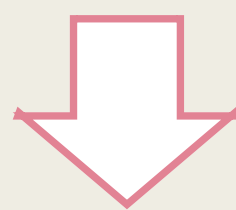
氏名 _____

函館市医療・介護連携支援センター ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター 営業日変更のお知らせ

令和7年4月1日から、当センターの営業日が
下記の通り変更になります。

お手数をお掛けいたしますが、貴機関内にて
ご周知くださいますようお願い申し上げます。

(変更前) 令和7年3月31日まで
営業日：平日 8:30～17:00
土曜 8:30～12:30
休業日：日曜・祝日



(変更後) 令和7年4月1日から
営業日：平日 8:30～17:00
休業日：土曜・日曜・祝日